

大人の理科コース

生き物にフォーカス！
～生物の生息地と私たちの生活の関係を考える～

私たちの身の回りの動植物や海洋生物、微生物
に着目し、それぞれの生態を知るとともに、人と
生物との関わり方について学びました。



第1回

くまもとの生物多様性
～固有種と外来種の混在～



第2回

動物相から見たくまもとの自然
～その変遷と現状～

熊本大学大学院

特任教授

西野 宏 先生

生物多様性とは？ という
話から、種の保存法、熊本の希
少な動物、外来種について、多
種多様な熊本の生物の、様々な
問題について解説されました。



NPO法人 バードリサーチ会員

坂梨 仁彦 先生

「かつては、羽を広げると畳一
枚ほどもあるイヌワシが熊本県に
も生息していた。」1950年頃の立
田山の鳥類相や菊池渓谷の30年間
に渡る鳥類相の変遷などを例に、
熊本県の鳥類相について紹介され
ました。



第3回

くまもとの植物
～「人間 野草 草原」阿蘇を例に～



認定NPO法人 阿蘇花野協会
専務理事

瀬井 純雄 先生

ハナシノブと深く関わる瀬井先
生。人の暮らしで変わった植物の
世界に、人が手を加えることで、
悠久の草原が再生。その取組につ
いて学びました。



第5回

ヒトと微生物
～有用？有害？細菌、菌類、ウイルス…～

熊本大学大学院

教授

澤 智裕 先生

細菌学の歴史から、細菌とウイ
ルス、私たちの体に住み着く微生
物について学びました。耐性菌に
よる死亡を防ぐ澤研究室の取組紹
介や、顕微鏡に触れる実技も好評
でした。



第4回

くまもとの海辺の生きものたち
～生物多様性と保全対策～

ひのくにベントス研究所
所長

森 敬介 先生

潮位差が4～6mある有明・八
代の海辺は、希少な生き物を育
む、全国的にも特別な場所。調
査の実例や、希少種・沿岸環境
保護対策について話されました。



▲第5回の様子。5台の顕微鏡を実際に操
作し、難しさを実体験。澤先生と研究室の
豊元さんに、優しく丁寧に教えていただき
ました。



▲第4回の様子。海の底で生活する底生生物
を「ベントス」といいます。生物
コースでは、プロジェクターの画像も多彩
でした。

受講生の感想

- ・「今日は講義があるので、出掛ける日」と思うと気分がシャキッと、一日が有効に過ごせて元気が
出ます。生活のリズム作りにしています。今後共よろしく願いします。有難うございました。
- ・初めて聞くような話も出て良かったです。特に最終講義の顕微鏡で見る学習は良かったです！
- ・大人の理科で自然環境の保全の大切さ、大変さに気づくことができました。意識の高い人が取り組んで
いますが、市民、町民、村民などに広く周知され地域全体の取組にしていって欲しいです。